

様式 A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）

令和 5年 7月 13日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒417-8585

住所

静岡県富士市今泉700-1

事業者名 ジャトコ株式会社

担当者所属 新規事業推進部

担当者名 津田 聡彦

電話番号 080-3580-1820

電子メールアドレス toshihiko_tsuda@jatco.co.jp

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作介護機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

2. 会社概要（任意様式）

3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）

※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）

令和 5年 7月 13日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	○

2. 依頼者（企業）の概要

企業名	ジヤトコ株式会社		
担当者名	津田 聡彦		
担当者連絡先	住所	〒417-8585 静岡県富士市今泉700-1	
	電話	080-3580-1820	
	電子メールアドレス	Toshihiko_tsuda@jatco.co.jp	
主たる業種	自動車部品製造		
主要な製品	自動車用変速機		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	☒ 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム ☒ 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 ☐ 認知症対応型共同生活介護：グループホーム ☒ 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 ☐ 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 ☐ ショートステイ ☐ 障害者福祉施設 ☐ 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 ☐ その他：（ ）		
その他			

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作介護機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称(仮称)	移乗機構付き車いす(仮)	
試作介護機器の有無及び機器のコンセプト(試作介護機器あれば写真を添付)	試作介護機器の有無	1. 有 2. 無
	機器の目的及び特徴 ベッドから高齢者が移乗する際に、高齢者自身の意思による立ち上がり動作を支援、アシストができる機能を持ち、立ち上がり後は車いすに付属の座面に座って、介護士の付き添いの下で移動可能な車いす機能を持つ移乗機構付き車いす。	
想定する使用者及び使用方法、使用場面	① 想定する使用者 高齢者施設に入居されている、介護が必要な高齢者。 現在販売されている移乗ロボットの使用者+αの方が使用できる機器を目指す。 年齢層: 70代後半～80代、90代の男女 施設内の移動に車いすを使用している要介護2、3の介護レベルを対象。 使用される高齢者の身体機能はテクノエイド協会発行の 福祉用具シリーズVol15 “腰を痛めない介護の為に”に記載の下記フローチャートの青枠内のレベル。 スタート いいえ シートでの移乗や特殊な吊り具を使用して寝たままのリフト移乗 はい 背もたれのある椅子に座ることができるか? いいえ 吊り具を使用して、リフト移乗 はい 背もたれなしの椅子に座ることができるか? いいえ ボードなどを使用し、肘掛着脱式車いすなどに移乗 体重が重い場合はリフトまたは電動スタンディングリフト移乗 はい お尻歩きで左右前後に移動できるか? いいえ 自力(見守り)でボードなどを使用し、肘掛着脱式車いすなどに移乗 または電動スタンディングリフト移乗 はい お尻歩きで左右前後に移動できるか? いいえ 電動スタンディングリフト移乗 またはリフト移乗 はい 移乗動作に協力的か? いいえ 立ち上がり介助バー、手動スタンディングリフトなどを使用 はい 自力だけで立ち上がることができるか? いいえ 動作の見守り はい 安定した立ち上がりができるか? はい 定期的な立ち上がり安定している動作の確認 引用 テクノエイド協会 福祉用具シリーズVol15“腰を痛めない介護の為に” ② 想定する使用場面 施設の個室ベッドで生活している高齢者がトイレに行きたくなくなった際に、施設介護士の介助の下でトイレに連れて行ってもらう。更に用便の後、個室ベッドまで戻る一連の動作の介助を得る場面を想定している。 場所 高齢者が集団で生活する特養等の介護施設。屋内使用のみ。 エレベーターでのフロア間の移動あり。	

基本、被介護者の居室から居室内のトイレ、施設内共同スペース(大部屋)間の移動。

施設の部屋、トイレ等の仕様:ジヤトコ協力施設の高齢者個室、個室トイレ及び共用トイレでの使用を前提とする。

時 被介護者がトイレに行きたい、施設内共同スペースに行きたい時等

物 機器本体は、汚れた際に簡単に清掃が可能なこと。

飲み物をこぼした際の水拭き、水洗いに耐えられる防水機能をもつこと。

人 介護士が1名で機器を操作し、被介護者を機器で移乗、移動させる。

使用する被介護者(高齢者)は1台の機器を共用で使用する。

③ 想定する使用方法

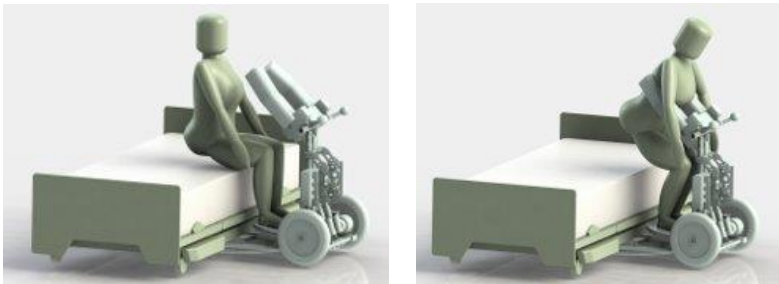
ベッドサイドに端座位の状態になった高齢者の傍に本機を設置する。

介護士の補助の下、本機にて移乗姿勢になる。

本機移乗機の機能は、主に高齢者自身の意思による立ち上がり動作の支援、アシスト。立ち上がりの動作と合わせて、腹部、胸部のパッドによって立ち上がりにあと一息の動作を支援する。立ち上がり後は車いすに付属する座面に座って、介護士がトイレまで連れていく。

トイレの便座付近に移動した後は、ベッドからの移乗動作と同様に本機器が車いす座面からの立ち上がりを支援。立ち上がり後はズボン、下着を降ろした後にトイレの便座に着座する。



現在の開発状況と 主な課題	開発状況 原理試作を目的とした試作機にて、社内関係者での体感試乗、社内診療施設内什器を活用した取り回し等を確認。以下の主要課題を解消すべく、次号試作機のコンセプト検討、設計仕様を検討中。 👉 現試作機   主要課題 以下の課題に対処すべく、次号試作機を製作中。次号試作機に反映すべきコンセプト、仕様を確認する為にアドバイスを頂きたい。 ・ 移乗機構使用時の高齢者の心身の負担、不安の低減。 ・ 機器使用時の高齢者の意思の尊重、機能維持訓練の機能の付加。 ・ 機器のコンパクト化、小回り性の改善 ・ 移乗機構部の制御自動化、デザイン性向上等
特にアドバイス（意見交換）を希望している事項	本機の使用を想定される高齢者について ・ 使用可能な高齢者は、全入所者のうち何名程度の割合になるか？ ・ 使用できない高齢者は使用可能な高齢者と比較してどのような身体機能が衰えている為、使用できないのか？ 本機器の使用シーンについて ・ 本機器のような移乗ロボットを使っていない場合に、介護士による移乗に関わる作業時間は何か？本機器を使用した場合、何分までなら使用するか？ ・ 本機器を使ってトイレ便座への移乗、高齢者のズボン、下着の脱ぎ下ろし、トイレの補助をした際に本機器のサイズ感、取り回しは施設のトイレで可能か？ 本機器移乗時の使用感について ・ 移乗時に高齢者が苦痛、恐怖感を感じていないか？ ・ 介護士から見て安全か？ ・ 使用を想定する高齢者が実際に使用できそうか？
その他	現試作機（実機）と並行して次号試作機図面レベルでの仕様についても介護施設殿のご意見を頂きたい。

Jatco

Corporate Profile

ジャトコ株式会社 会社案内



イノベーションで未来のモビリティを切り拓く

私たちジャトコは、「クルマの頭脳」であるオートマチックトランスミッションをお客さまに提供しています。

1970年に前身会社のひとつである日本自動変速機が創業されてから50年以上に渡り、自動車用オートマチックトランスミッションの専門メーカーとして、ステップATはもちろん、環境にやさしいCVTや、ハイブリッド車用トランスミッションまで幅広い商品を世の中に送り出してきました。

いま、自動車業界はこれまでに経験したことのないような大変革期を迎えています。社会におけるクルマやモビリティのあり方そのものが大きく変化し、電動化、自動運転、AI対応などお客さまのニーズも多様化していくことでしょう。我々は50年の歴史や市場実績に裏付けられた確かな技術力と蓄積されたノウハウを生かし、既存事業の効率性と完成度に磨きをかける「深化」と、持続可能な成長のために電動化事業へ向けた準備を行う「探索」に取り組んでいます。モノづくりの強みを生かして未来のモビリティを切り拓き、新しい時代にも、エネルギー管理の分野等で独自の価値を提供することで、様々なお客さまのニーズにお応えしていきます。この100年に一度の大変革は、100年に一度のチャンスでもあるのです。

変革への取り組みになによりも大切なのは、「人財」です。世界中の従業員一人ひとりがリーダーシップを発揮し、一つのチームとしてはつらつと働くことが、新しい価値の提供には不可欠です。ジャトコ従業員としての誇りを持って仲間とともにチャレンジする。また、事業活動をはじめとする様々な活動を通じて社会課題への解決にも取り組み、地域社会から愛される企業を目指します。

「イノベーションで未来のモビリティを切り拓く」

ジャトコは「深化」と「探索」の中から、常に新しいイノベーションが生まれる会社でありたいと思っています。

ジャトコ株式会社
代表取締役社長

佐藤 明由

ジャトコは、
自由な発想によるアイデアの集約と技術への飽くなき挑戦によって
お客さまと社会のニーズに的確にフィットする
高性能なオートマチックトランスミッションを生み出しつづけています。
人に走る喜びを、社会に活力を、そして、地球にやさしさを、つなぐ。伝える。
それが、革新へのチャレンジを続ける
ジャトコの使命 = ミッションなのです。

The mission is passion. **Jatco**



Development

商品企画 商品開発



限らないチャレンジ・スピリットが、開発の原動力となる

「オートマチックトランスミッションが、エンジンやモーターのエネルギーをいかに効率的に伝達できるか」。ジャトコはその性能を高めるために、常に果敢なチャレンジを続け、長年にわたって技術を蓄積してきました。そしていまエネルギーを「伝える」から「マネジメントする」というステージへ。ジャトコの限らないチャレンジ・スピリットが、クルマ社会が求める未来の姿を現実のものにしていきます。



クルマに搭載した試作品を入念にチェック

市場と時代のニーズを先取りする商品企画

運転性能、環境性能、快適性能など、クルマに求められるさまざまな性能は、世界のマーケットごとに異なり、また時代とともに変化を続けます。ジャトコはオートマチックトランスミッションのリーディングカンパニーとして、常に市場のニーズを先取りし、「環境とクルマが共生できる社会」を実現するために、次のオンリーワン商品を企画・提案し続けています。

優れたアイデアを実現する技術・商品開発

優れたアイデアを商品化するためには、技術的なブレイクスルーが必要です。しかもタイムリーでなくては、時代のニーズに応えることはできません。ジャトコは常に次世代を見据えた要素技術や制御技術の研究を続け、その時が来るのを待っています。「世界初」の商品を次々に提供できるのは、ジャトコがアイデアをアイデアに終わらせない技術・商品開発力を持ち続けているからです。

未来を見つめた技術革新、電動化対応トランスミッション

2030年には、ハイブリッド車(HEV)、電気自動車(EV)、燃料電池車(FCV)のような電動車両が50%以上になる、という予測があります。ジャトコでは、そうした未来を見据えて革新的な技術にチャレンジしています。例えば、研究開発を進めている電動化対応トランスミッションや、電動車両用e-Axleは、HEV、EV、FCVなどの多様な動力源に適合できるよう、小型軽量で搭載性に優れ、高いエネルギー伝達効率を目指しています。



GLOBAL JATCO



グローバルな技術開発力

ジャトコの研究開発拠点は、日本を中心に、アメリカ、韓国、フランス、中国など、世界各地に展開されています。坂道の多い街でも、標高の高い国でも、人々の毎日に乗せて快適に走行できるトランスミッションであるために、世界中のマーケットの近くで、実際の使われ方やニーズに合った商品を実現する、グローバルな技術開発力を持っています。



展示会で自社商品を紹介



油路の細部を確認するためのスケルトンモデル



新しい技術のアイデアを図面に起こしていく



わずかな数値の変化も見逃さない

Production

生産



ジャトコ独自の生産方式で目指すのは、世界一のモノづくり

「世界中のお客さまに、ジャトコの価値ある商品を提供したい」。

世界各国の生産拠点において、常に高品質の商品を安定的に供給し続けることが、ジャトコの使命です。

そのために構築した独自の生産方式が、JEPS(JATCO Excellent Production System)。

世界一といえるモノづくりを目指して、「限りない」改善・改革を続けています。

JEPS(JATCO Excellent Production System)

ジャトコ独自の生産方式「JEPS」は、市場ニーズの変化に柔軟に対応しながら、品質(Quality)、時間(Time)、コスト(Cost)のすべてにおいて世界No.1のモノづくりを目指しています。素材仕入、加工、組立、検査、出荷に至る一連の工程を1本のラインのように稼働させることで、一切の無駄を排除するシステムです。そのプロセスの中で、多様な人財が活躍する生産ライン、"ダイバーシティライン"の推進、IoTやAI、RPA(Robotic Process Automation)を活用した効率的かつ革新的な生産技術への挑戦を続けています。



素材仕入



加工



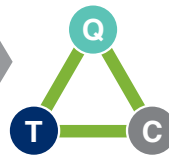
組立



検査



出荷



Quality
Time
Costで
世界No.1を目指す

2つの「限りない」取り組み

JEPSでは、サプライチェーン全体において2つの「限りない」目標を掲げています。1つは、「お客さまへの限りない同期」。品質・コスト・納期それぞれを、お客さまのご要望に限りなく近づけます。そしてもう1つは、「限りない、課題の顕在化と改革」。目標とする世界一のモノづくりと現状とのギャップを真摯に受け止め、問題点を顕在化させながら、改善・改革を繰り返し、モノづくりの仕組みを継続的にレベルアップさせています。

モノづくりの継承

ジャトコのモノづくりを継承するために、一番大切なのは人財の育成。技能塾からグローバルトレーニングセンター(GTC)へと名前を変えた研究施設でスキルやノウハウを身につけた従業員たちが、各国で指導役となり、それぞれの生産拠点を支える優秀な人財を育てています。ジャトコが、短期間で新しい生産拠点をスタートできるのも、こうした仕組みが整っていることが理由です。

GLOBAL JATCO

量産技術のグローバルネットワーク



日本国内をはじめメキシコ、中国、タイと、世界に拡大するジャトコの生産拠点では、JEPSの思想が貫かれ、どの工場でも高品質な商品が安定的に生産されています。主力商品であるJatco CVT7、Jatco CVT8は、世界の複数の拠点や生産ラインで生産されており、またどの拠点でも同一品質が確保できるので、各マーケットの需要変動にも柔軟に対応可能。お客さまを待たせることなく、ジャトコの価値ある商品を提供することができます。



CVTの基幹部品「ブーリー」



これまで累計1億台以上のトランスミッションを生産



次世代生産技術への挑戦の一つとして、組立ラインの自動化を推進



最後は人の目で厳しくチェック

Products

ジャトコが提供する商品



進化を続ける、ジャトコのオートマチックトランスミッション

エンジンやモーターからの動力を最適な形でタイヤに伝達し、ドライバーの意のままにクルマを走らせる。

そのための変速を自動制御する装置が、オートマチックトランスミッションです。

1970年の創業以来、我々は電子制御5速AT、2リッタークラス金属ベルト式CVT、1モーター2クラッチ式ハイブリッドトランスミッションの開発・量産化などの「世界初」を生み出しました。

さらに、時代のニーズに合わせ、電動化対応トランスミッションや電動車両用e-Axleの研究開発も進めています。

滑らかで力強いトランスミッション、CVT

オートマチックトランスミッションの中でも、ベルトとプーリーで無段階に変速するCVT（無段変速機）*。常にエンジンの効率の良い領域を使って変速できるので、変速ショックのない滑らかで力強い走りと優れた燃費を両立することのできる革新的なトランスミッションです。ジャトコは、自動車用CVTの分野において、グローバル市場でトップシェアを持つリーディングカンパニーです。

*CVT: Continuously Variable Transmissionの略

市場のニーズに応えるハイブリッド車用トランスミッション

ジャトコでは、マーケットのニーズにあわせて、ハイブリッド車用トランスミッションの設計・開発にも力を入れています。長年培った高度な制御技術を駆使し、ハイブリッド車の長を最大限に活かせるトランスミッションを自動車メーカーと共同開発。ステップATベース、CVTベースともに効率的なエネルギー回生やモーター走行、ハイブリッド走行などを実現し、運転性能と環境性能を高次元で両立させています。

Transmission

エンジンの力を最適な形でタイヤに伝える。それがトランスミッションの役割です。発進時や上り坂では力強い駆動力が必要となり、高速道路などでの一定の速度での走行では、エンジン回転数を抑えた低燃費で静かな走りが求められます。ドライバーの操作や自動車の走行条件を瞬時に判断し、自動的に最適なギアを選択することで、優れた運転性能と燃費性能を実現しています。まさに、人間の頭脳のように、考えるトランスミッション、それがオートマチックトランスミッションなのです。

Engine

Line up

多彩な車種に対応できる商品ラインナップ

ジャトコは世界で唯一、軽自動車用から大型乗用車用までをカバーするCVTをラインナップ。さらに、ステップAT、ハイブリッド車用トランスミッションなど幅広い商品構成により、様々な車両に搭載可能です。多くの自動車メーカーに採用いただき、世界中のお客さまから高い評価をいただいています。

HYBRID



CVT



AT





ジャトコ フランス社
/ フランス パリ、スペイン バルセロナ

2003年に設立したジャトコ フランス社は、開発、実験、市場調査、品質保証サービス、営業などの機能を持ち、欧州特有の道路事情やお客さまの声を、商品企画・商品開発にフィードバックしています。



ジャトコ株式会社
ジャトコ エンジニアリング株式会社

1989年に設立したジャトコ エンジニアリング株式会社は、開発、生産、品質調査などの機能を持ち、ジャトコの商品開発に貢献しています。

ジャトコ ツール株式会社

1995年に設立したジャトコ ツール株式会社は、切削工具の研磨の分野で世界中のジャトコの生産現場を支えています。

ジャトコ プラントテック株式会社

1995年に設立したジャトコ プラントテック株式会社は、動力設備運転保全、工作機械、電気通信でジャトコをサポートしています。



ジャトコ 米国会社
/ テネシー

1997年に設立したジャトコ 米国会社は、営業、開発、実験、品質保証サービス、アフターセールスなどの機能を持ち、極寒のアラスカから灼熱のアリゾナまで、広大な北米市場を舞台に活動しています。



ジャトコ タイランド社
/ チョンブリ

2011年に設立したジャトコ タイランド社は、2013年に生産を開始し、アセアン市場のニーズに応えています。生産能力は50万台規模となります。



ジャトコ (広州)
自動変速機有限公司 / 広州

2007年に設立したジャトコ (広州) 自動変速機有限公司は、巨大市場である中国市場への商品供給を見据え、2009年に生産を開始。今では年間100万台規模の工場に成長しました。



ジャトコ (蘇州)
自動変速機有限公司 / 蘇州

2018年に設立したジャトコ (蘇州) 自動変速機有限公司は、中国自動車市場の拡大に伴うCVT需要に応えるため、ジャトコ広州に次ぐ中国第二拠点として、2019年に生産を開始。年間生産能力は48万台です。



ジャトコ メキシコ社
/ アグアスカリエンテス

2003年に設立したジャトコ メキシコ社は、北米市場に商品を提供するための生産拠点として、2005年に生産を開始。2014年には第2工場も稼働し、第1工場と合わせて年間170万台規模の工場となりました。



ジャトコ 韓国エンジニアリング社
/ ソウル

1998年に設立したジャトコ 韓国エンジニアリング社は、設立から実験までの開発業務を行える業務を持っています。特に、コンピューター解析では商品開発に大きな役割を果たしています。



ジャトコ 韓国サービス社
/ ソウル、プサン

2004年に設立したジャトコ 韓国サービス社は、韓国市場における品質保証サービス、営業の機能を持っています。韓国市場のお客さまの要求にタイムリーに応えるための一翼を担っています。



Global Expansion

グローバル体制

視点はグローバル、モノづくりの思いを世界へつなぐために

ジャトコは、世界中のお客さまに近いところに開発拠点や生産拠点を展開し、

お客さまのニーズをタイムリーに取り入れた商品企画・商品開発、生産を実施する体制を整えています。

その数は、日本以外に海外7カ国10拠点にものぼります。生産拠点では、グローバルネットワークを前提とした量産体制が整備され、高品質な商品が世界のどの工場でも生産できるようになっています。

また、世界中の開発拠点も緊密に連携し、市場のニーズを商品開発へフィードバックしています。



Production Base



Research & Development



Sales & Service

Social Responsibility

社会に対する責任

環境・教育・福祉の3本柱で社会貢献活動を推進

ジャトコは、法令や人権を守り、常に公正であることはもちろん、事業や商品を通じて、社会に価値を提供することで、積極的に社会的な責任を果たして行きたいと考えています。また「よき企業市民」を合言葉に、地域に愛されるジャトコを目指して、環境・教育・福祉という3分野を中心とした社会貢献活動を推進、社会の課題を解決するために自主的な取り組みを行っています。

お客さまのニーズに応える商品を提供

灼熱の環境下でも極寒の地でも、安心できるドライブと意のままの走りを届ける。世界中の自動車ユーザーが求めるニーズや、クルマの使われ方に合わせて、常にお客さまの期待を上回る商品を提供していきます。

商品を通じた環境負荷の低減

トランスミッションの進化によって、世界中の自動車の燃費を5%、10%と向上させていく。ジャトコは環境性能に優れた商品を提供することによって地球環境の保護に貢献し、常にクルマ社会の未来を見据えた商品開発を続けていきます。

社会的弱者に寄り添う優しい社会づくり

日本では、知的障がいを持ったサッカー選手たちによる「ジャトコ×横浜F・マリノス フトゥーロカップ」や「横浜F・マリノスカップ電動車椅子サッカー大会」などを開催し、福祉活動にも力を入れています。アメリカでは「フードバンク」に参加するなど、社会的な弱者に寄り添った活動にも、積極的に取り組んでいます。

従業員が澁刺と働ける環境づくり

活力ある組織や創造的な発想を実現するため、性別、国籍、キャリアなど、あらゆる多様性を受け入れることで従業員のダイバーシティを積極的に推進しています。日本では、その一環である子育てと仕事の両立のための環境整備活動が評価をいただき、2015年8月には静岡県企業の企業としては初となる「プラチナくるみん」企業に認定されました。

ルールを守り公正な企業活動を営む

コンプライアンス委員会、情報セキュリティ委員会など、部門の枠組みを超えた組織によって、全社をあげて法令を順守し、常に高いレベルの倫理に従って行動することを徹底しています。

お取引先企業との協力

部品の調達先であるビジネスパートナーの皆さまに向けては「サプライヤーCSRガイドライン」を提示。例えば児童労働を行っていないこと、有害物質の管理を適正に行っていることなどを、お取引の前提としています。ビジネスパートナーの皆さまと共に、公正で透明性の高いビジネス推進に取り組む姿勢を明確にしています。

環境

かけがえのない自然を次世代へ

よき企業市民として、ジャトコは環境にかかわる活動に取り組んでいます。世界中の拠点で、植林や清掃活動、稚魚放流、遊歩道整備など、地域に貢献し豊かな自然を次世代に残すための活動を続けています。

モノづくりの素晴らしさを伝える

教育に関する取り組みとして、それぞれの拠点において近隣の小・中学生、高校生、大学生など各年代に応じた工場見学の受け入れや、職業体験などを実施。東日本大震災の被災地を訪れて、モノづくりの楽しさを伝える出張授業も行いました。

教育

福祉

事業を通じた価値の提供

常に自由で公正な企業活動

Jatco

社会的課題への取り組み



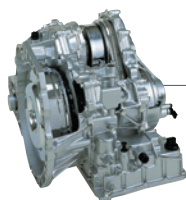
JATCO's History

World's First



JR502E

世界初、電子制御5速オートマチックトランスミッションを開発



F06A

世界初、2リッタークラス金属ベルト式CVT



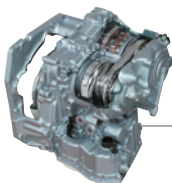
JR006E

世界初、究極のCVT、トロイダルCVTを量産化



JF010E

世界初、3.5リッタークラス対応のベルトCVT



Jatco CVT7

Jatco CVT7 (JF015E)

世界初、副変速機付きCVT



JR712E

世界初、乗用車用トルコン・レスの1モーター2クラッチ式
ハイブリッド車用トランスミッション



Jatco CVT8 HYBRID

Jatco CVT8 HYBRID (JF018E)

世界初、エンジンとモーター結合部に
乾式多板クラッチを採用した、ハイブリッド車用トランスミッション

1943.8

日産自動車株式会社の吉原工場設置（現在の富士第1地区）

1970.1

日産自動車株式会社・マツダ株式会社（当時：東洋工業株式会社）・米国フォードの
合併により日本自動変速機株式会社設立

1989.4

1989.10

日本自動変速機株式会社からジャトコ株式会社に社名変更

1997.8

1999.6

日産自動車株式会社のAT・CVT部門が分社し、トランステクノロジー株式会社設立

1999.10

トランステクノロジー株式会社とジャトコ株式会社が合併し、
ジャトコトランステクノロジー株式会社としてスタート

1999.10

ジャトコ株式会社へ社名変更

2002.4

三菱自動車工業株式会社のAT・CVT部門が分社し、ダイヤモンドマチック株式会社設立

2002.11

2003.4

ダイヤモンドマチック株式会社とジャトコ株式会社合併

2009.9

2010.11

2015.5

2020.1

おかげさまで
50周年



会社概要

社名	ジャトコ株式会社
設立	1999年6月28日
本社	静岡県富士市今泉700番地の1
事業内容	変速機および自動車部品の開発、製造および販売
資本金	299億3,530万円
従業員数(連結)	11,800名(2023年3月31日現在)
株主	日産自動車株式会社 75% 三菱自動車工業株式会社 15% スズキ株式会社 10%

財務状況(連結)

	単位:億円		
	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	6,492	5,428	5,613
営業利益	281	186	267
当期純利益	19	58	165

(参考)

拠 点

- **本社・富士地区**
〒417-8585 静岡県富士市今泉700番地の1
TEL 0545-51-0047(代) FAX 0545-51-5976
- **蒲原地区**
〒421-3203 静岡県静岡市清水区蒲原4905番地の11
TEL 054-388-3486(代) FAX 054-388-2318
- **富士宮地区**
〒418-0111 静岡県富士宮市山宮3507番地の16
TEL 0544-58-6700(代) FAX 0544-58-5549
- **掛川地区**
〒436-0082 静岡県掛川市淡陽16番地
TEL 0537-24-9661(代) FAX 0537-24-9627
- **八木地区**
〒629-0102 京都府南丹市八木町室橋山田10番地の1
TEL 0771-43-2200(代) FAX 0771-43-2216
- **厚木開発センター**
〒243-0126 神奈川県厚木市岡津古久560番地の2
TEL 046-270-1458(代) FAX 046-270-1751
- **岡崎開発センター**
〒444-8501 愛知県岡崎市橋目町中新切1番地
TEL 0564-32-0944(代) FAX 0564-31-2104
- **茂木試験場**
〒321-3535 栃木県芳賀郡茂木町鮎田555番地
TEL 0285-64-1335(代) FAX 0285-64-1340
- **座間開発センター**
〒252-0012 神奈川県座間市広野台2丁目10番地の1

国内関係会社

- **ジャトコ エンジニアリング株式会社**
〒417-0002 静岡県富士市依田橋125番地の1
TEL 0545-51-5777(代) FAX 0545-51-5494
- **ジャトコ ツール株式会社**
〒417-0023 静岡県富士市吉原宝町1番1号
TEL 0545-54-2221(代) FAX 0545-54-1160
- **ジャトコ プラントテック株式会社**
〒417-0023 静岡県富士市吉原宝町1番1号
TEL 0545-57-5510(代) FAX 0545-57-5515

海外関係会社

- **ジャトコ 米国会社**
1974 Midway Lane, Smyrna, TN 37167, USA
TEL +1-615-614-8600 FAX +1-615-640-3612
- **ジャトコ メキシコ社**
Carretera Panamericana Km 75, Col. Los Arellano, C.P. 20340. Aguascalientes, AGS., Mexico
TEL +52-449-929-5064 FAX +52-449-971-1081
- **ジャトコ 韓国エンジニアリング社**
Lotte IT Castle 2-4F, 98, Gasan digital 2-ro, Geumcheon-gu, Seoul 08506, Korea
TEL +82-2-6443-7000 FAX +82-2-6443-7021
- **ジャトコ 韓国サービス社**
Lotte IT Castle 2-412, 98, Gasan digital 2-ro, Geumcheon-gu, Seoul 08506, Korea
TEL +82-2-6443-7400 FAX +82-2-6443-7401
- **ジャトコ(広州)自動変速機有限公司**
NO.8, Lihong 2 Road, Science City, Guangzhou Hi-Tech Industrial Development Zone, Guangzhou, Guangdong, 510530, China
TEL +86-20-8226-7338 FAX +86-20-8226-7002
- **ジャトコ(蘇州)自動変速機有限公司**
No.2 Tangqiao Road(M), Tangshi Community, Yangshe Town, Zhangjiagang City, Jiangsu Province, 215600, China
- **ジャトコ フランス社**
ZAC des Godets - Batiment C, 1-4 Impasse de la noisette, 91370 Verrières le Buisson, France
TEL +33-1-69-32-71-50 FAX +33-1-69-41-83-35
- **ジャトコ タイランド社**
700/999 Moo 3, Amata Nakorn Industrial Estate, Thumbon Nongkakha, Amphur Phanthong, Chonburi 20160, Thailand
TEL +66-38-930-000 FAX +66-38-930-051

Jatco

ジャトコ株式会社

本 社 〒417-8585 静岡県富士市今泉700番地の1 TEL.0545-51-0047 (代) FAX.0545-51-5976 www.jatco.co.jp